

令和8年度 夏の企画展 「いなべにも戦争がありました」 を開催します。

常設展示「平和への願いコーナー」より



「代用陶器」 陶器製の湯たんぽ



金属製の湯たんぽ*

国は、主に昭和13年頃の日中戦争以降に、武器生産に必要な金属資源の不足を補うため、国民から、鍋などの生活用品やお寺の鐘などの金属製品を半強制的に提出させました。このため、陶器・布・木・竹などの素材を代用して陶器製湯たんぽ(上記写真)、布製バケツ、竹スプーンなど様々な生活用品が作られました。

*湯たんぽ:容器に熱いお湯を入れ布でくるみ、布団の中や体の近くに置いて体を温める暖房器具。

世界では、今も各地で武力紛争が続いており、戦争や平和を自分事として考える重要性が高まっています。

当館では、戦時中の人々の暮らしを見て、感じて今の自分の生活と結び付けて、今一度“戦争と平和”について考えていただきたいという思いで、常設展示とは別に、当時の生活用品や書籍など生活環境がうかがえる収蔵品を期間限定で展示します。どうぞ、お越しください。

- 開催期間：令和8年7月25日(土) ～ 9月27日(日)
- 開館時間：午前9時 ～ 午後4時30分
- 開催場所：いなべ市郷土資料館 第2展示室 (旧中里小学校内)
- 休館日：月・火曜日
- 入館料：無料



いなべ市郷土資料館

いなべ市藤原町上相場 838 番地

電話 0594 46 2526

E-mail: i-kyoudo@m7.cty-net.ne.jp



いなべ市 HP